

满面の笑顔は我々家の自慢

ひがぎ 議会だより

No.34

2018.7.17

発行編集：日之影町議会報編集委員会

平成30年度補正予算 P3
所管事務調査報告 P5
一般質問 P6~P7
議員交換会 P7
庁舎建設特別委員会 P8



6月定例議会

第2回定例会は、6月7日に開会し、行政報告2件・報告1件・同意1件・承認9件・発議1件・議案7件は原案のとおり可決した。6月13日の一般質問には3名が登壇し町長・教育長に質問、尚、当日は民生委員・宮水地区老人クラブ・宮崎県立看護大学の学生等約38名が傍聴に訪れた。6月15日最終日には町長より、日之影町役場「新庁舎」の建設についての行政報告があり、その後平成30年度の一般会計補正予算・各特別会計補正予算を原案の通り可決し所管事項事務調査（経済建設常任委員会・総務文教常任委員会）については紙面報告となり閉会した。

平成30年度
一般会計
補正予算

「中央商店街・街路灯を整備」

一般会計 歳入歳出補正額

1億1459万円追加

補正後の総額

47億3059万円



《中央地区商店街風景》



《第2回定例会の傍聴風景》

歳出の主なもの

■ 総務費（庁舎建設設計委託料）	9260万円
（住宅新築、リフォーム定住促進補助事業）	355万円
■ 教育費（小学校給食室更新費）	232万円
■ 商工費（街路灯整備工事）	1215万円

■ 平成30年度特別会計補正予算 ■

事業名	補正額	補正後の総額
国保	647万円減額	6億4601万円
簡易水道	1万9千円追加	7335万円
介護保険	5万8千円減額	6億9803万円

平成29年度
一般会計
補正予算

伸びてるふるさと納税に感謝！

一般会計 歳入歳出補正額 **459万円減額**
補正後の総額 **53億7080万円**



《庁舎移転先の町民センター》



《返礼品詰め合わせセット》

歳入の主なもの

- ◆町 税 **456万円追加**
- ◆地方交付税 **2億2387万円追加**
- ◆県支出金（有害鳥獣捕獲促進事業） **935万円減額**
- ◆寄付金（ふるさと納税） **1122万円追加**
- ◆繰入金（財政調整基金） **2億6157万円減額**

歳出の主なもの

- ◆民生費（国民健康保険事業繰出金） **2294万円減額**
（介護保険特別会計繰出金） **677万円減額**
- ◆基金積立金（公共施設等整備基金） **5020万円追加**

■ 平成29年度特別会計補正予算 ■

事業名	補正額	補正後の総額
病院事業	306万円追加	6億2283万円
国保	6269万円減額	7億7327万円
簡易水道	16万円減額	8076万円
奨学資金	149万円減額	1215万円
介護保険	2159万円減額	6億7424万円
後期高齢	127万円減額	5756万円

マイクロバスが 新しくなるばい！



《授業風景》



《整備予定の新畑地区用排水路》

行政報告

平成29年度町内小・中学校の学校評価並びに教育委員会の事務事業の自己点検・評価について

基礎学力の向上を目指して、「思考力の育成」を研究テーマに掲げ、言語活動を意識した授業実践に取組み、各学年で実施したテストにおいて、県平均を上回っている。また町・地域の行事の参加や部活動の県大会の出場等、教師の熱心な指導のおかげである。結果、学校教育・社会教育及び教育関係施設等を含め、適正に管理執行されている。

(教育長)

報告

平成29年度一般会計繰越

明許費繰越計算書について
総務費の「新庁舎建設整備事業」、農林水産業費の「産地パワーアップ事業」他4事業、商工費の「道の駅

青雲橋整備事業」、土木費の「道路維持事業」他3事業、

災害復旧費の5事業で、繰越額は、8億674万円です。(町長)

同意1件

西臼杵郡公平委員会委員に上小原の馬崎英俊氏を選任。

任期(平成30年8月21日から4年間)

日之影町営土地改良事業の施工について

日之影町営の土地改良事業として平成30年度から新畑地区のため池等整備事業(土砂崩壊防止)の実施を議決。

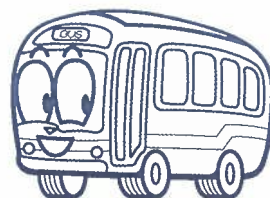
(用排水路の三面張水路工368メートル)

財産の所得について(マイクロバス)

本町のマイクロバスは、購入して23年が経過し修繕

費が年々増加している。安

全で高齢者等に配慮した機能を持つバス(約1千700万円)の導入を議決。(納車は、年度末の予定)



発議1号

(日之影町議会基本条例の制定について)

本条例は、議会議員の活動原則、町民と議会、町長と議会との関係など、議会に関する基本的な事項を、総合的に定義し、自らの活動と責務、町民・行政との関係を明確にして、町民の負託に応えることを決意し、議会における最高規範としてこの条例を定める。

所管事務調査報告書

新たに、福祉と事業所連携！

◆総務文教常任委員会

1、のぞみ工房

運営は社協で登録者は23名である。常時17〜18名の利用状況であり、業務は農園芸、施設外就労、加工、請負作業等である。月額工賃も順調に伸びて来ている。職員、利用者の努力の賜である。

また本年より、新たな取組みとして、民間事業所と連携して原木の供給による椎茸生産の契約栽培を構築された。

今後、県の平均工賃に近づける為の更なる工夫と町内外の企業、事業者との連携を望むものである。

2、西臼杵衛生センター

築後21年が経過し、床、外壁等のクラックなど施設本体の老朽化が著しく、機械等の部品供給も難しい状況になりつつある。アクセス道路の不利さ、災害等の発生を考慮し、職員の安全、安心の観点、施設の老朽化等を含め、今後を見通した時、早急に移転計画の検討が急務である。



《のぞみ工房 作業風景》



《西臼杵衛生センター(尿処理施設)》

お客さんが増えるといいね！

◆経済建設常任委員会

1、道の駅整備と振興について

平成30年度にリニューアル建築計画のある「道の駅青雲橋」について農林業に寄与する事を考え、従業員が働きやすい職場町民が納得でき、利便性の高い施設が望まれる。また、日之影ならではの農産物や食材の開発を考える重要な時期に来ており、特産品開発協議会や日曜朝市グループなどとの協議をする必要がある。

2、有害鳥獣対策について

有害鳥獣の被害が深刻、広域化している昨今、「ジビエ料理」への活用が取り上げられるなか、捕獲実績のある延岡市のマツダコーポレーションを視察した。足くくり罠でも箱罠でも生きたまま捕獲する事を第一条件に、精肉加工に至るまで細心の注意と高度な技術で対応されており、従来の処理方法と全く違うことの説明を受けた。本町も技術等の普及拡大と啓発に努める事が望まれる。



《リニューアル予定の道の駅全景》



《マツダコーポレーション社長との対談》

一般質問とは、議員が行政全般にわたって執行機関に対し、施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるものです。

議員の担い手不足の手立ては

町長 議会で十分な検討が必要国・県の動向を見守って行く。



飯干 静香 議員

問 平日の夜間・休日の議会開会は考えられないか伺う。

町長 全国927町村議会中、休日実施27町村、夜間実施14町村など開催経緯はあるものの、議員のなり手を増やすというよりも、議会活性化の一環として、傍聴者を増やし、議会の感心度を試みることも多いので今のところ考えはない。

問 リニューアルする道の駅にポルタリングの設置はできないか伺う。

町長 限られた施設配置の中で、規模・デザイン・特に安全面を十分考慮したい。検討委員会でも十分検討して、情報発信と交流の場として有意義な施設になるよう更に検討を重ねていく。

問 森林・里山体験学習「木育」の取り組みを伺う。

教育長 これまでも林研グループを中心に夏休みや深谷まつり・イベントを通して定期的な取り組みが実施され、小・中学校の授業時にも木と触れ合う活動を行ってきた。今後も関係機関との連携による木育教育の推進に更に努めていく。

問 土・日曜日の部活の際のスクールバス運行はできないか伺う。

教育長 「中学校部活遠征支援」「スポーツ少年団活動支援」事業などに取り組んでいる。基本的には土・日の部活の運行については考えていない。

問 「小・中学校音楽祭」の今後の取り組みを伺う。

教育長 伝統行事ではあったが、昨年度は日程調整が厳しい状況のため、別の日に「音楽鑑賞会」として実施した。今年度は10月26日に「学校と地域をつなぐ小・中学校音楽祭」として開催予定。内容も小中学校の発表だけでなく、音楽の専門家を呼んでの観賞教室を取り入れることで、子ども達にも良い刺激を与えられ、地域に開かれた教育活動、「元気なまちづくり」に貢献できることを期待している。

増額！「ふるさと納税」の見える化を！

町長 町広報を通じて公表している。



甲斐 睦彦 議員

問 年々右肩上がりの「ふるさと納税」昨年度は2千600万円に達した。しかしながらその使い道がいまいち、実感できない。

町長 水源の里事業・森林セラピー事業・地域振興に資する事業に充当し、町広報に於いて公表をしている。

問 地方総合戦略に於けるKPI中間報告からの現状と、課題を踏まえた今後の取り組みを伺う。

町長 KPI指数については、すでに上回っている項目もあり、目標値の上方修正に努め、更に実効性のある取り組みを行う。

問 近年の自然災害から特に「事業継続計画」「避難所運営訓練」の充実は大丈夫か伺う。

町長 横断的に職員を配置し効果的な災害対応を図ると共に「日之影町地域防災計画検証訓練」を実施した。避難所運営については、管理責任者（職員）を選定し事前周知を図っている。

子どもにも機会と経験を！

教育長 新たな活動は困難！

問 政治に対しての関心として、夏休みを利用した「子ども議会」を実施したらどうか。

教育長 一部の子どものみだけの取り組みになり、学校には夏休みなどの計画がある為、現場に負担を強いることから実施は厳しい。

問 本町の将来を担う若人の社会教育面からの新たな「青年団活動」支援策が必要ではないか伺う。

教育長 青年団を取り巻く状況も大きく変化している事から、広くネットワークを構築しながら、未来につながる支援をしていく。

林業振興の人材育成と支援策は？

町長 再造林の推進、担い手確保と合わせ検討する。



一水 輝明 議員

問 勢は、従事者の高齢化や担い手不足による意欲の低下、再造林等の問題が生じている。そこで、自伐林家の人材育成と支援策は、循環型林業の振興を図るために、必要と思うが町長の見解を伺う？

町長 再造林については、今年度より苗木の補助単価の上限を撤廃し、生産技術の向上や生産量の拡大を目的に、苗木供給体制の構築に努める。また、担い手対策につきましては、町単独の事業や、地域おこし協力隊の募集に努め、担い手不足の解消や育成に併せ、自伐林家の育成についても検討していく。

問 森林環境譲与税を財源とする「森林バンク」の取組みは？

町長 森林経営管理法に基づく新たな森林管理システムについては、先月25日に可決、来年4月に施行となる。急傾斜地の多い本町の山林には厳しい面もあるが、しっかりと検証し対応していく。

問 世界農業遺産・ユネスコエコパークと連携し、本町の豊かな観光資源としての山林開発の考えは？

町長 本町の有します豊かな自然を活用し、森林セラピーの取組みの強化するとともに、世界的ブランドと連携し、観光産業と併せ加工や観光を絡めた六次産業化の研究を行いたいと考えている。



《木材搬出状況》

意見交換会

議場で初の意見交換会

町議会では、議会の活動に関心を持ってもらう事を目的に、町民との意見交換会を議場で開催した。町内11の団体の代表者や、町民ら約30人が参加、将来の町政について語り合いました。

意見交換会では、各団体の代表者が「私の描く将来の日之影町」と題して発表し、議



員がコメントする形式で進められた。意見は観光に教育・農業の振興・子育て・福祉と多岐にわたり熱弁がかわされました。議会としては、沢山の貴重な意見を聞く事ができ、町の将来を考えるヒントを頂く事が出来ました。参加者の皆様、誠に有り難うございました。

《庁舎建設特別委員会》

日之影町議会は全議員による「日之影町庁舎建設特別委員会」を設置し、先進地の視察を重ねてきた。更には「日之影町新庁舎委員会」に議会から2名の議員が委員として出席した。「特別委員会」においても、5月と6月に委員会を開催し議論を重ね下記の意見書を定例会二日目に町長へ報告した。

1、数十年に一度の事業である新庁舎の建設は、本町活性化と均衡ある発展に配慮し、慎重な議論と判断の上で結論を出すこと。

2、事業実施にあたっては、新庁舎建設委員会の答申や、町民アンケートの結果をできる限り反映させること。

3、将来への負担軽減として、新庁舎建設費と建設後の維持費を、徹底して検証し、財源の確保を図ること。

4、大災害を想定し防災拠点としての機能を充実させ、庁舎を利用する町民サービスへの配慮を町民目線で考えること。

5、交通弱者や社会的弱者及び、建設地や周辺の関係者に、より細かに配慮する取り組みを行うこと。

6、最大限の木材利用など、日之影町の象徴的な施設となるよう工夫すること。

行政報告

《抜粋》

日之影町の将来を見据えるべく新庁舎の建設委員会では、多くのご意見をいただいたことに、重ねて御礼申し上げます。現庁舎については、その存在が町づくりに与えた影響は大きく、公共交通や経済活動、人の往来など、中央地区の商店街とともに歴史を刻んできたところです。庁舎の建て替えに際しては、若い世代に日之影町を託していくうえで、現在から将来に向けての社会情勢の変動、町民アンケート等における意見を総合的判断し町民に開かれた誰もが利用しやすい庁舎、さらには本町の防災拠点施設として、その機能を発揮できる場所に新築しなければならぬと考えます。

新庁舎建設委員会からいただいた意見書や町民アンケート等を総合的に考慮しますと、今後の日之影町の中心となる「新庁舎」については、宮水地区に移転することが望ましいと判断し、現町民センター及び福祉館を解体しその跡地に「複合施設」として新築したいと考えます。

尚、中央地区の今後の活性化につきましては（仮称）中央地区活性化協議会を設置し取り組んで参ります。



■ 表紙紹介 ■

今回は、鹿川集落の堀口正三郎氏（73歳）と奥さんのエミ子さん（73歳）を紹介します。ちょうどミニトマトの収穫をされていて忙しい中お話を伺いました。

Q 農業経営についてお伺いします？

堀口さん 今は、ミニトマト15アール（ハウス10棟）の収穫が始まったばかりです。作柄は平年並みで順調に育っています。その他に、今年は椎茸駒を8万個うちました。

Q 農業の楽しさ、良さと思うところはありますか？

堀口さん 歳をとると、ほねおりばかりで楽しさはあまりないが、収穫を迎え終わったときに一定の単収、販売高が上がったときは、嬉しいがぁね。そして。何よりも仲間と一杯やる時が一番の楽しみじゃの~。
（ちなみに昨年は、郡内で販売高2位、単収は1位だったそうです）

Q 農業をする中で、困ったこと問題点はありますか？

堀口さん 一番は、人手不足じゃね。収穫の最盛期時に二人ではしださんから、人を雇いたいけど、近くにおらんかったとよ。
あんまり無理もできんからやったはずじゃん。
（ミニトマト部会では最年長だそうです。）



Q アグリファームについてお伺いします？

堀口さん なかなか良い取り組みだと思う。鹿川ではほとんどが田植え時の箱苗を頼んで助かっています。要望としては、ハウスビニールの被覆をやってもらおうと助かります。

Q 最後に、一言何かありませんか？

堀口さん 「福沢諭吉」を干すビニールハウスが欲しいわんと冗談まじりで話を閉められました。

（いつまでもお元気で、周りを楽しませてください。ご協力有難うございました。）

■ 議会傍聴のご案内

次回の定例会は9月です。皆様の傍聴を心よりお待ちしております。議会に対するご意見・ご要望等お聞かせ下さい。

◎問い合わせ 議会事務局 TEL 87-3908

6月の風景

※町民の皆様からの写真を募集しています。



《雲海に浮かぶ幻想的な日之影中学校》



《放水後の八戸ダム湖》



《たんざくに願いを込めて》



《収穫を控えた梅園》



《大学生が手植えで頑張りました》



《機械植えでの様子》

編集後記

早いものでもう7月、長い梅雨もあがりこれからが夏本番ですね。皆様、お変わりありませんか？この時期になると、夏休みが待ちどろしいか？子供の頃を思い出します。先日の土曜日に看護大学生が集落の人達と田植えをしました。秋の収穫が楽しみです。6月定例会も終わり、庁舎建設も基本設計となり、道の駅もリニューアルと大事業がスタートしました。一方、台風シーズンにもなりまですので防災に備え、事故の無いよう気をつけましょうね。

発行責任者

議長 杉本道生

議会報編集委員

委員長 一水輝明

副委員長 甲斐睦彦

委員 佐保満男

委員 河野 學